

対馬学フォーラム 2018 ポスター発表大会 発表予定

コアタイム 1 13:00～14:30、コアタイム 2 14:30～16:00

(1) 発表タイトル・発表者一覧

分野	No.	コアタイム	発表者	タイトル
水環境	01	その1	○矢巻剛(法政大学大学院人文科学研究科)・小寺浩二・浅見和希・猪狩彬寛・堀内雅生	対馬における水環境を中心とした自然環境の現状と変遷(2)
植物 植生 人類	02	その2	○鈴木浩司(対馬植物研究会)	対馬における固有・希少植物種(絶滅危惧種)の分布と現状について
	03	その1	○野井英明(北九州市立大学文学部)・志知幸治・内山隆	対馬の縄文時代前期以降にみられる特徴的な植生と渡来人の到達との関わり―志多留湿原における研究の可能性について―
	04	その2	○斎藤成也(国立遺伝学研究所集団遺伝研究部門)	新学術領域研究ヤポネシアゲノムのご紹介
昆虫	05	その1	○谷尾崇(東京大学総合研究博物館)・伊藤勇人・神宮周作・山本武能・久壽米木大五郎・中村康弘・永幡嘉之・水落渚・関根雅・伊藤雅男・平井規央・佐々木公隆・小沢英之・王敏・徐培峰・山本以智人・松木崇司・遠藤秀紀・矢後勝也	国内希少野生動植物種・ツシマウラボシジミの系統維持および生息地回復に関する保全生物学的研究
	06	その2	○松尾佑弥(京都産業大学総合生命科学部)・奥山永・高橋純一	対馬に生息するニホンミツバチの遺伝的多様性の評価
爬虫類	07	その1	○児玉知理(京都大学理学部)	ツシママムシはどこで何を食べるのか?―電波発信機を用いた個体追跡―
ヤマネコ 環境保全	08	その2	○堺真由子(環境省九州地方環境事務所対馬自然保護官事務所)・山本以智人	対馬野生生物保護センターにおけるツシマヤマネコ保護増殖事業の実施について
	09	その1	○近藤由佳(ツシマヤマネコ野生順化ステーション)・岩下明生・永野雄大・川口誠・山本以智人	下島におけるツシマヤマネコの分布域拡大
	10	掲示のみ	○岩下明生(ツシマヤマネコ野生順化ステーション)・桐谷元基・山本以智人・永野雄大	ツシマヤマネコの野生復帰技術開発―訓練環境としての野生順化ケージの評価―

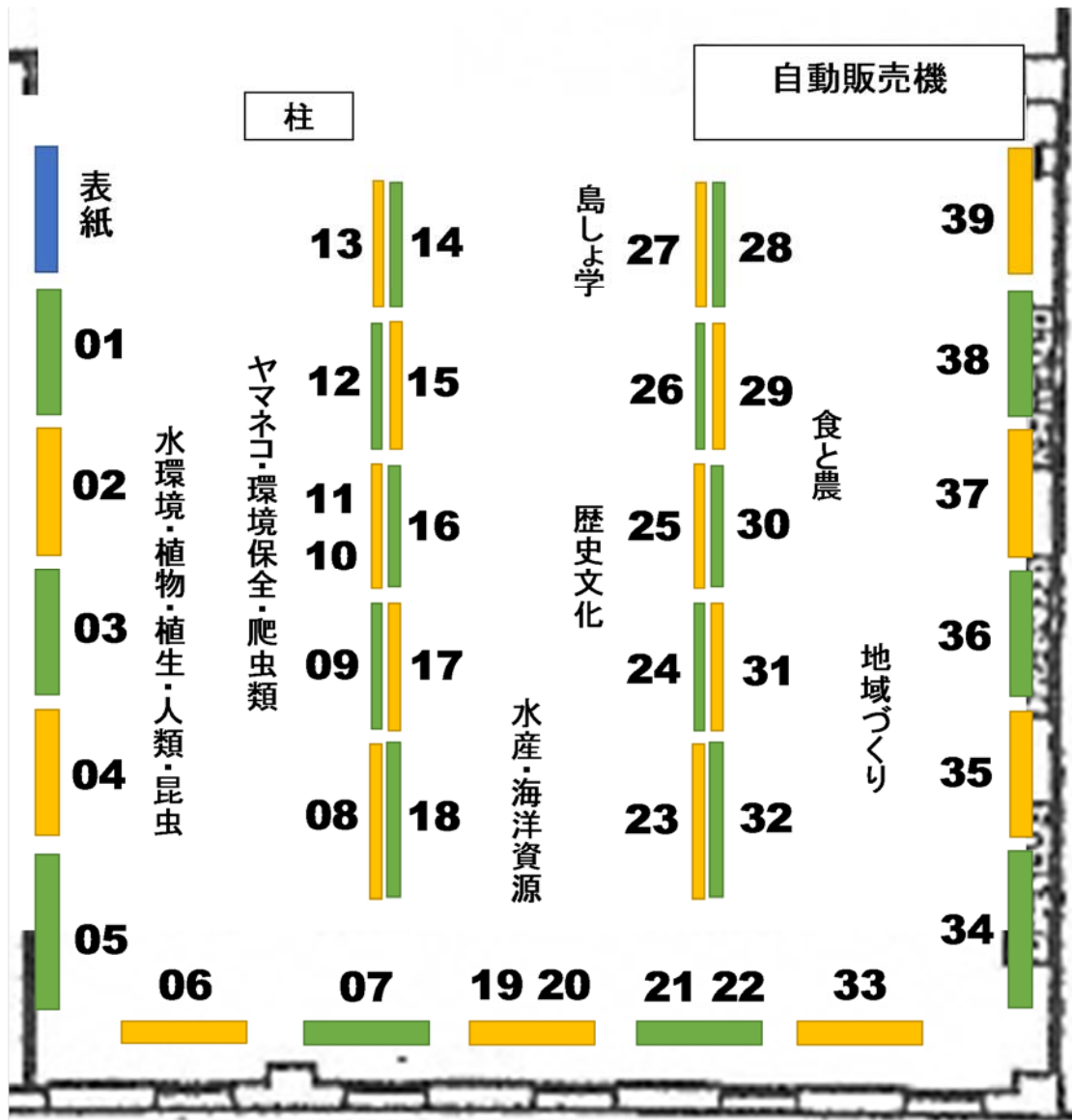
	11	掲示のみ	○沼倉真帆(環境省九州地方環境事務所対馬自然保護官事務所)・山本以智人	ツシマヤマネコ交通事故保護個体の追跡事例
	12	その2	○三谷毅(東京工業大学大学院環境・社会理工学院)	ツシマヤマネコを対象とした交通事故の発生特性に関する要因分析
	13	その1	野田一男・○堺真由子(環境省九州地方環境事務所対馬自然保護官事務所)	ツシマヤマネコ応援団の活動～自分出来ることを、無理なく楽しくコツコツと～
	14	その2	○本田裕子(大正大学人間学部)・高橋正弘	ツシマヤマネコの交通事故対策に関するボランティア活動の2年間のふりかえり
	15	その1	○前田貴信(佐世保工業高等専門学校電子制御工学科)・兼田一幸・榎田諭・対馬野生生物保護センター	ドローンを活用したツシマヤマネコの生息調査
	16	その2	○箕浦千咲(環境省九州地方環境事務所対馬自然保護官事務所)・山本以智人	対馬におけるノラネコ及び野犬の確認状況
	17	その1	○武田竜典(ツシマヤマネコ野生順化ステーション)・山本以智人・永野雄大	環境省によるシカ対策
水産 海洋資源	18	その2	○會津光博(九州大学大学院工学研究院)・清野聡子・佐土哲也・宮正樹	環境 DNA メタバーコーディングに基づく対馬沿岸域の魚類相_2016年10月～2017年6月
	19	その1	○長野晋平(全日本漁港建設協会)・清野聡子・安田大樹・劔崎聖生・長野章	漁村情報発信ポータルサイトの構築と運用
	20	その2	○長野晋平(ティエスビジュアルリサーチ)・はこだて未来大学大学院)・清野聡子・逢妹・山内国弘・長野章	水産物トレーサビリティの構築と運用
	21	その1	○清野聡子(九州大学大学院工学研究院)・森久拓也・會津光博・山内国弘・三原立也	対馬の海と人のつながり―「対馬魚類図鑑」の制作とその展開
	22	その2	○清野聡子(九州大学大学院工学研究院)・三原立也	海洋保護区の国内外の動向と対馬の取り組みの特徴
歴史・文化	23	その1	○河本太郎(タカミ企画)・阿比留省三	ロシアから対馬へ(色あせぬ感謝の気持ち)
	24	その2	○松尾大輝(九州大学大学院人文科学府)	中世対馬における宗氏支配確立過程
	25	その1	○小林秀輝(九州大学大学院芸術工学府)・藤田直子	コヤからみる対馬の文化的景観
	26	その2	○村上和弘(愛媛大学国際連携推進機構)	交通から見た近現代の対馬生活史～海上交通の時代を中心に～

島しょ学	27	掲示のみ	○長嶋俊介(鹿児島大学名誉教授)	日本ネシアを対馬からの線と図と関係で捉える～境界基点としての対馬:群島国家(面)を線(距離)と関係(歴史)で捉え直す～
	28	その2	○藤野忠敬・○山浦公美代(長崎大学グローバル連携機構)・下川功	長崎大学の「島嶼 SDGs プロジェクト」
食と農	29	その1	○大関美波(東京農業大学応用生物科学部)・廣田捺帆・齋藤幸枝・前田剛・岡大貴・内野昌孝	対馬の伝統発酵食品「せんだんご」の速醸化の試み
	30	その2	○水野敏幸(醸壤、セミージャ)	事業紹介～対馬を農業と教育からカイゼンする拠点～
地域づくり	31	その1	○菅野壮(明治大学法学部)・高木英彰	アグリパークプロジェクト～農地を活用した健康地域づくり～
	32	その2	○江崎環(東京工業大学大学院環境・社会理工学院)	地域コミュニティの視点からみた小さな拠点のあり方に関する研究—対馬市を対象として—
	33	その1	○須藤竜之介(九州大学決断科学大学院プログラム)・城田智広	地域イベントは私たちの暮らしにどのように役立っているのか？—地域行事の類型化と機能性の検討に向けて—
	34	その2	○笹川貴吏子(立教大学大学院社会学研究科)	地域おこし協力隊制度を活用した協働の地域づくりに関する社会学的研究—長崎県対馬市を事例に
	35	その1	○野津紫文(鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科)・新木廉・坂井駿之介	住民ニーズに応えるこんどろバス運行システムの構築
	36	その2	○待永優希(九州大学法学部)・山里直輝・西尾真奈	UI ターン者のインタビュー調査—社会減抑制のための現状把握
	37	その1	○日高光博(もやいの会佐須奈)・富茂人・庄司清一・山本栄嗣・山田理	もやいの会 佐須奈 活動紹介
	38	その2	○桜庭俊太(静岡大学大学院総合科学技術研究科)	「あん子はどこの子ね？」あいさつができる関係性からはじまる地域と自然の再生—夏休み子ども寺子屋 in 佐須奈での実践をとおして—
	39	その1	○武田暢博(フリーランス詩画作家)	改めて見る、見なおす、確認する、足下の自然—故郷(佐須奈)風景ポストカード製作にあたって—
観光	40	その2	○熊中麻里子(九州産業大学商学部)	国際のまち対馬の SDGs と日韓利き酒交流
	41	その1	○森壮志・立石彩奈(長崎国際大学人間社会学部)・大坪遼・韓宗佑・宋智琦・山口航	対馬を訪れる観光客の実態と対馬税の可能性

教育	42	その2	○安武大悟(中央大学法学部)	島外の大学生が一週間の対馬滞在で学んだこと～島おこし実践塾とインターン～
	43	その1	○上妻潤己(九州大学大学院法学府)・川崎修良	上対馬高校における地域住民と連携した学習プログラムの開発
	44	その2	○城田智広(対馬市しまの力創生課)	対馬市内の学校づくりにおける「コーディネーター」の役割と可能性
	45	その1	○松葉遥花(対馬市しまの力創生課)・前田剛	カッコいい対馬人を紹介するキャリア図鑑～「みんなの未来図鑑(仮)」構想～
	46	その2	○米田利己(株式会社コミュニケーションメディア)	国境の島・対馬で、自分の価値を高める『新しい働き方!』創造～クリエイティブ人材育成とワーキング拠点「デジタルハリウッドSTUDIO 対馬」～
	47	その1	○榎田諭(佐世保工業高等専門学校電子制御工学科)・前田貴信	遠隔コミュニケーションを併用した科学技術講座の実践
教育	48	その2	○畑島英史(九州大学大学院工学府・対馬市立仁田小学校)・清野聡子・井手弘人	対馬における地域社会と小学校との協働学習の実践
	49	その1	○対馬市立巖原北小学校	北小ESDの授業実践～概念・能力・態度・活用力～
	50	その2	○布井佑紀・○古茂田香(立教大学社会学部)	大学生による対馬アクションリサーチの意義
	51	その1	○川口幹子(一般社団法人対馬里山繋ぎ塾)	「学び」の産業化を目指して～「営みを繋ぐ」対馬里山繋ぎ塾の5つの挑戦～
	52	その1	○原亜由美(長崎県立対馬高等学校)・原洋輔・浦谷哲治・溝上美由希・前田剛・松葉遥花・城田智広	対馬高等学校 2018 年度「ESD 対馬学」による学習効果に関する考察

(2) ポスター発表位置図

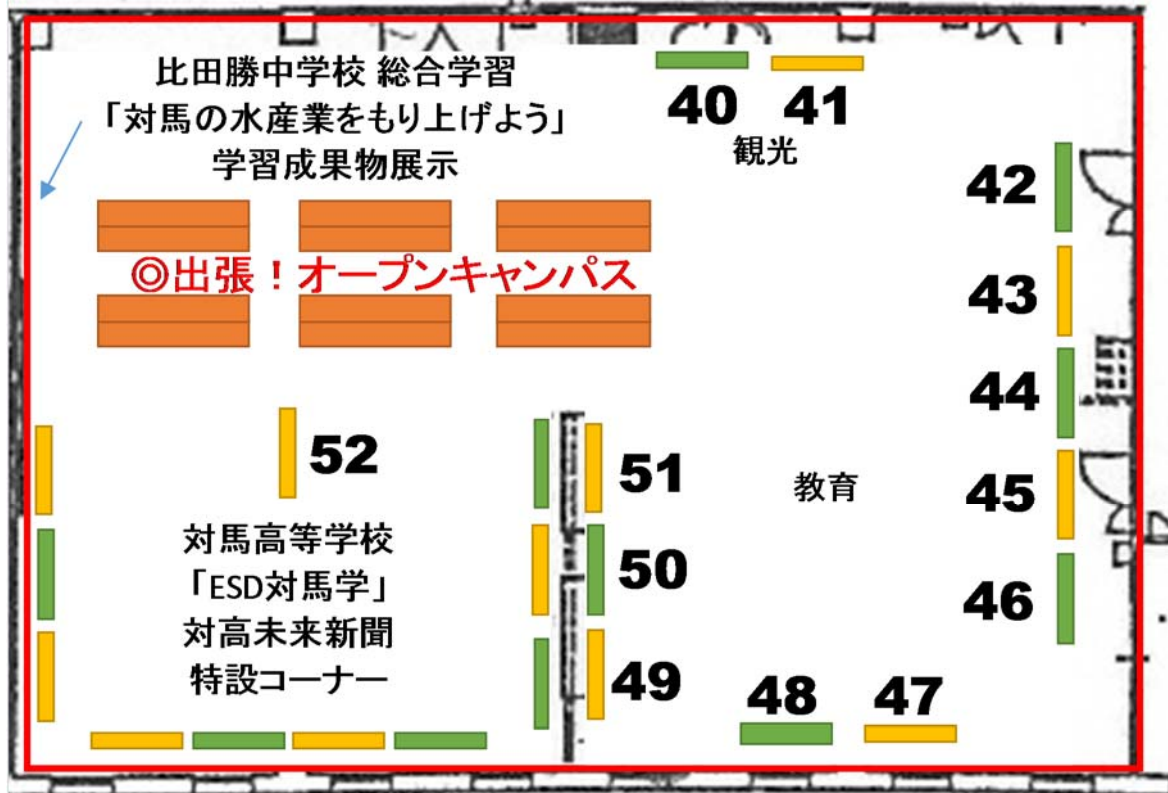
第1会場



※番号は1から4ページ目の発表 No. と対応しています。

第2会場

◎第2会場(第1・第2・第3会議室)



※番号は1から4ページ目の発表 No. と対応しています。